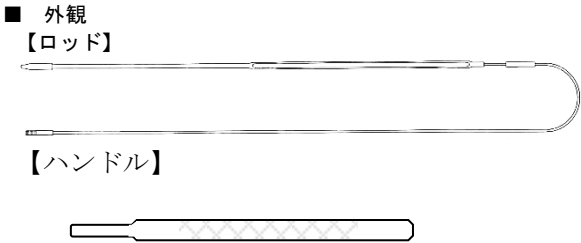


静脈ストリッパ(ロッドタイプ)

【形状・構造及び原理等】  
本品は、先端が閉じた硬質のロッドと末端にストリッピングカップ等が取り付けられる螺子山のある柔軟なステンレス製のケーブルで構成された器具である。  
また、ロッドを血管内に挿入する際に操作性を高めるためのハンドルもある。



| 製品規格    | ワイヤー  | ロッド   |
|---------|-------|-------|
| MJ-300R | 700mm | 300mm |
| MJ-350R | 700mm | 350mm |
| MJ-400R | 700mm | 400mm |
| MJ-450R | 700mm | 450mm |
| MJ-500R | 700mm | 500mm |

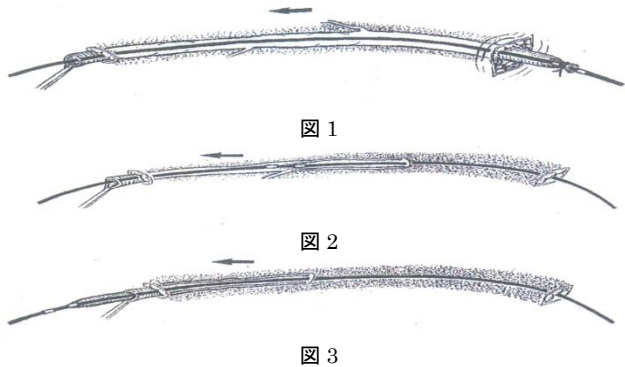
(±10%)

■ 主な原材料及び成分

| 名称   | 原材料    | 規格  |        |
|------|--------|-----|--------|
| ロッド  | ステンレス鋼 | JIS | SUS303 |
| ワイヤー | ステンレス鋼 | JIS | SUS304 |
| ハンドル | ステンレス鋼 | JIS | SUS303 |

【使用目的又は効果】  
本品は、伏在静脈瘤に対するストリッピング手術に用いる。

- 【使用方法等】
- 挿入時
    - ストリッピング術を行う伏在静脈の中枢側に 1.5cm から 2.0cm の皮膚切開を行い、伏在静脈を露出させる。
    - ストリッピングワイヤーの挿入部を伏在静脈の中枢端から抹梢に向けて挿入する。
    - ストリッピングワイヤーを本幹の瘤化の最下端部に進行させ、挿入部を触知する部位あるいは先端の突き上げにより皮膚が隆起した直下に小皮膚切開を加える。
    - 小切開により確保した末梢側の伏在静脈が露出した後、静脈から挿入部を引き出す。
    - 静脈に挿入された挿入部をさらに抹梢端側へ牽引して、ワイヤーの中央にある静脈結紮部に静脈中枢端を結紮固定する。(図 1)
  - 抜去時
    - 挿入部を徐々に中枢側から抹梢側にむけて牽引しながら静脈中枢端を内翻させる。(図 2)
    - 静脈を末梢側切開創より抜去する。(図 3)



- 使用方法等に関連する使用上の注意
- ストリッピングワイヤーは、適切な方向で使用する。
  - 本品の使用時に抵抗を感じた際は、無理に使用しない。
  - ストリッピングワイヤーを牽引した際、ワイヤーに抵抗が生じた場合は、静脈が断裂する恐れがあるため注意すること。
  - ロッド操作を行う際、専用のハンドルを使用すること。
  - 無理な角度での挿入、過度の加圧での使用は避けること。

- 【保管方法及び有効期間等】
- 結露を防ぐために、過度の温度変化がないようにすること。
  - 水濡れや直射日光を避けること。
  - 常温・常湿で、塵や埃のない清潔な場所に保管すること。
  - 錆びている機器と一緒に保管しないこと。
  - 化学薬品と一緒に保管しないこと。
  - 消毒器・滅菌器、保管庫等の内部に発生した錆びや汚れに注意すること。

- 【保守・点検に係る事項】
- 洗浄・消毒、滅菌
- 本品は未滅菌で供給されるため、使用前に必ず洗浄・滅菌すること。

| 推奨滅菌方法 | 温度       | 時間     |
|--------|----------|--------|
| 高圧蒸気滅菌 | 121-124℃ | 15 分以上 |

- 使用後は直ちに洗浄液等に浸漬し洗浄すること。洗浄後は必ず乾燥させること。湿った状態で長時間放置しますと変色、錆等の発生原因になる。
- 洗浄の際、目の粗い磨き粉や金属ウールで本品の表面を磨かないこと。
- 洗浄装置(超音波洗浄器等)で洗浄を行う際は、他の機器が接触しないようすること。
- 血液、体液、組織片等により汚染した機器は、使用後すぐに洗浄、消毒、滅菌を行うこと。汚染物質を付着したままにしておくくと除去しにくくなることもある。
- 洗浄、消毒、滅菌には精製水を使用すること。水道水を使用すると塩素イオンの影響で器具が腐食することがある。
- 加熱滅菌器(オートクレーブ滅菌器等)の乾燥温度に注意すること。高温の乾燥は機器が変質または変色することがある。

- 使用者による保守点検
- 本品を使用前及び洗浄中に、欠陥(ひび割れ、変形、摩耗、腐食等)がないか、機器が正常に作動するか目視で点検すること。
  - 洗浄が不十分な場合や器具に詰まりがある場合は再度洗浄し、十分にすすぎ洗いをする。

- 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
- 製造販売業者：株式会社 メディックスジャパン  
国内製造業者：株式会社 メディックスジャパン  
国内製造業者：有限会社 河島製鉄所